

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成21年 学校教育だより

September **9** 第302号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線623)



ぐんぐん上達楽しい体育——学びあい 高めあい、できる喜びを味わわせる体育の授業——写真提供/諏訪小学校

ぼうし

南畑小学校 四年

加藤 祐介

朝フアーと出かけてく

夕方つかれて帰ってく

長い休みはやくめなし

ピーピーピーと

おこってる

二学期たくさんやくめあり

使いつばなしでやんなっちゃう

ハーハーヒーとおつかれだ

ハーハーヒーとおつかれだ

指先を使って理解する授業

「ためしてガッテン」という番組がありますが、「わかった」とは、まさに自分で自分を納得させることができた時に感じるものです。

ところが、今の世の中、私たちの身のまわりから「つまみ」で調節するものはほとんど姿を消し、何でもボタン一つで処理できるようになってきてしまいました。その結果、押しつけてから自分を納得させるという、思考に慣れてきているようにも感じます。

一方、理科室にはガスバーナーやら顕微鏡やら、ボタン一つで観察・実験の準備ができるものは何一つありません。理科室は今の子供たちにとって、いわば「別世界」なのです。このようなデジタル世代の子供たちを前に、私は次のようなことを意識して、指先を使って理解する授業を心がけています。

- 一、今日は何を学習するのか「目的がわかる」
 - 二、次は何をすればいいのか「次の一手がわかる」
 - 三、何を学習したのか「結論がわかる」
- ここでは、一学期の取り組みを振り返ります。

《目的がわかる》

顕微鏡を使いこなそう

一年生の初めは、植物の観察を通して顕微鏡の使い方を学びます。ここで肝心なのは、見たいものにしつかりピントが合わせられるかどうかで、これができるかできないか一気に顕微鏡が苦手になってしまいます。そこで毎回、自分のプラスチック定規を顕微鏡で見て、「4」や「5」などの目盛りの数字にピントを合わせる練習をします。すると、顕微鏡では上下左右が逆になって見えるこ



写真1

とや、見たいものをずらした時には定規を逆に動かすことも体感できます。その後、タンポポの花など小さなものを定規にのせれば、少しつまみを回すだけでピントが合わせられるようになります。(写真1)

特別支援教育

道具を使う

勝瀬小学校教諭 櫻田 純一



勝瀬小学校の特別支援学級では、木工作業（生活単元学習）で木製のミニバスケット用のゴールを作っています。①体育館にあるバスケットのゴールは高くてボールが届かない、②支柱が見えないので空間にあるリングは高さや距離を認知しにくい、ということので、子供たちに合ったゴールを作ることにしました。

ノコギリ、トンカチ、カンナ、ノミ、電動ドリルといった道具を使います。道具を扱う作業には、手指を動かしたり、支えたり、足と腰のバランスをとりながら、どんな姿勢で活動するか、力任せではなく必要な力加減ができるか、どんな時が危ないか、ケガにも気をつけて、と、いろいろな要素が組み込まれます。子供たちは、この活動が大

《次の一手がわかる》

光の進み方

植物の学習を終えると、光の学習に入ります。まず、光がガラスの中に入る時に屈折する様子を観察しますが、教科書の図(1-1)を使うよりも、方角を時刻で表した図(1-2)を使う方が、実験結果を伝え合う時に分かりやすいことを知ります。時計を



見るという日常生活と結びつけ、楽しみながら実験が進められるようにしています。続いて、ルーペを使うとなぜものが大きく見えるのかを調べる実験をします。専用の実験装置は4人のテーブルに一台ずつしかありません。そこで、ここでは植物の観察に使ったルーペと豆電球、厚紙を使っていきます。(写真2) こうすると一つのテーブルで二組のペアが同時に実験でき、目の前のペアと相談や比較をしながら進めることができます。

好きです。ひとりりでノコギリやトンカチを扱えるようになってきました。カンナをかけるのと削った後がすべすべになるし、出てくるカンナ屑にも興味いっぱいでした。

この活動の基本的なねらいは、手指の操作力を高めることにあります。手指の操作力は、ことばや数の学習をすすめる土台となる重要な要素と考えています。それを訓練的にするのはなく、ものを作る活動の中で、楽しく取り組みたいと考えています。

わかる授業 = 中学校の理科 =

「つまみ」に慣れて

教育随想

夏休みの課題

針ヶ谷小学校校長

貴志 祐子



六月最後の日曜日に、突然父が脳梗塞で倒れ入院した。私たち夫婦は、娘たちから父の日のプレゼントで、伊香保温泉へ一泊旅行に出かけており、旅先から急いで、父の入院した病院に駆けつけた。今年の父の日には、久しぶりに子供や孫が実家に大集合し、楽しい食事と父へのプレゼントをと喜んでいたら、に……そして、あまりにうれしそうな父の笑顔から、イベ

六月最後の日曜日に、突然父が脳梗塞で倒れ入院した。私たち夫婦は、娘たちから父の日のプレゼントで、伊香保温泉へ一泊旅行に出かけており、旅先から急いで、父の入院した病院に駆けつけた。今年の父の日には、久しぶりに子供や孫が実家に大集合し、楽しい食事と父へのプレゼントをと喜んでいたら、に……そして、あまりにうれしそうな父の笑顔から、イベ

コンピュータを使っているのですね。実際に矢印の位置をマウスで少しずつずらさなければならぬなど、自分のペースで何をすればよいかを考えなければなりません。

一つ一つの単元を終えた時、学習した内容を思い出しながら

東中学校校長 坂手修一
本校では「未来を見つめ、そして、今を考えて行動できる生徒」を目指す生徒像として教育活動を行っております。理科においても、様々な科学技術や法則が、二十一世紀においてどのように生かされているかを意識した授業展開が求められます。この取り組みは、身近なものを活用して生徒が観察・実験を楽しみながら行い、基礎・基本を確実に習得し、次はこうしてみたいという学習意欲を高める実践であると考えます。

単元の最後に、レンズを通った光がどのようにして像を結ぶのかを表す作図をします。ここではシミュレーションソフトをインターネットからダウンロードして利用しています。(写真3)



写真2

《結論がわかる》

おもちゃで分子モデル

二年生の一学期には、動物のからだのつくりや、ヒトが食べたものが消化されていく様子などを学習します。教室での講義が多くなり、生徒にとっては少々退屈な授業が続くころ、父との思い出が私の頭を駆け巡っている。幼かった頃の家族旅行、宿題をよくみてもらったこと、また、スポーツマンの父からは、水泳やスキーを鍛えられた。

直径数ミリのカラフルなビーズを、専用の板の上でペン先で転がしながら分子モデルをつくりませんが、肝臓の大事ななたらきについて和気あいあいと楽しく学習することができました。

キーワードを白紙の上に書かせていくと、生徒一人ひとりの理解の程度やその仕方の違いを見ることが出来ます。図2
以前は「自己評価カード」やまとめレポートを書かせたこともありましたが、このほうがより確実に生徒一人一人が身につけた知識や単元に対する意欲などを評価することができると感じています。また、生徒も自分は何がわかっていて何がわからないのか、頭の中を客観的に見つめ直すことができるので、どこから復習したらよいかを決めるのに役立つとすすめています。



写真3

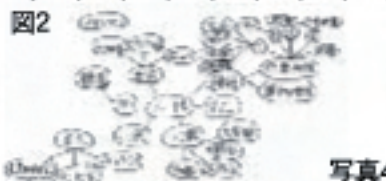


図2

復習マップ

一つ一つの単元を終えた時、学習した内容を思い出しながら



写真4



目を配り、気を配って……

みずほ台小学校 基礎学力定着支援員 吉田 香

私の一日は、一年生の朝自習から始まります。一步教室に入ると、「せんせい、これどうやるの?」「これであつてかな?」と、質問攻めにあいます。たいていは、問題がわからない訳ではないのです。そんなときは、「がんばったね。」「よくできているよ。」と声を掛けます。

また授業中、担任の先生だけでは個別に対応するのが難しいときがあります。解き方が分からなかったり、今何を

したらよいか分からなかったり……。そんな子供たちを見逃さず、できるだけ寄り添い学習を支援するように心掛けています。今まで分からなかった問題の答えを書けたときの子供たちは、何とも言いようのない、嬉しいような照れくさいような表情を浮かべます。自然と私自身も嬉しくなり、その頑張りを目一杯褒めます。

学習の理解が少しでも深まることや、「できた!」という実感が自信となり、次への意欲もわきます。そういった経



富士見台中学校3年

上川 里菜

私たち富士見台中学校ソフトボール部は、総勢50人で日々練習に動んできました。私が部長になったばかりの頃は、チームをまとめるのが大変で、悩むこともたくさんありましたが、みんなで「県大会ベスト4」という大きな志を持ち、仲間と支えあい、厳しい練習

部長として

にも耐えたことで、新人戦と学校総体では県大会に出場することができました。結果は惜しくも一回戦敗退でしたが、全力プレーができたので悔いはないです。

私は、部活動を通じて、チーム一丸となって一つの目標を目指すことの大切さを知り、このチームの部長ができて心からうれしく思います。



それぞれの生き方

富士見特別支援学校保護者 関根 健一

今年の春に映画化され、話題になった「余命一ヶ月の花嫁」。そのモデルとなったドキュメンタリーにこんなシーンがある。

病院で闘病生活を送る千恵さんにビデオカメラを向けながら、婚約者の太郎さんは「今日は何してたの?」と聞く。すると千恵さんはこう答える。「生きてた。」

私はハツとした。普段の生

活の中で「生きてる。」と実感することは、余りないことに気付かされたのだ。

本校に通う子供たちは、生きていく上で何かしらのサポートが必要である。サポートを必要とするということは、時として迷惑をかけるということにもなる。

しかし、障がいの有無にかかわらず、人は他人に迷惑をかけずには生きられないもの

教育課題特集

生きる力を



だと思ふ。「人に迷惑をかけてはいけない。」と教えるよりも、迷惑をかけてしまった時に、素直に謝ったり、感謝の心を表せるようになること、人が困っている時に自ら手を差し伸べられるようになることを身に付けるべきだと思う。本校の子供たちは、学校生活の中で、自分の力を伸ばす努力をするとともに、「たすけてもらう力」を身に付けていく。それが即ち、彼らの生きる力となるのである。

ない。子供たちが自分なりの「生きる力」を見つけ、それを身に付けていく過程を温かく見守っていききたい。



親も成長しなきゃ

水谷小学校校保護者 佐藤 佳代



「お母さん。〇〇を買って。友達みんな持っているよ。」
 どうしよう。友達と同じ物を
 持っているようにしてやろうか。
 「家では買わない。」と言おう
 か……。

どの程度できるようにしてお
 けばいいのだろう。ほかの子
 はできるのに……と。気付い
 たら、ほかのお子さんとは比
 てばかりの自分がいたのです。
 これではいけないと思い、
 夫や友達と話してみると、私
 と同じように思っている人が
 多く、少し安心しました。し
 っかり育てなくてとは、いつ
 の間にか気負いすぎていたよ
 うです。

今は、あいさつと靴をそろ
 えることはしっかりできる子
 にしようと、気をつけていま
 す。気持ちを通じるのでしょ
 うか。「おはよう。」とにつ
 こり笑って言えるようになり
 本心に嬉しいです。そして、
 「こうしなさい。」ではなく
 「お母さんは、こう思うよ。」
 と話すようにしました。子供
 も、「そうか……。」と考
 えているようです。

冒頭の〇〇は、十二月まで
 待つて決めることになりました。
 た。子供は日々成長していく
 のだから親も成長しなくては
 と思う毎日です。

各個人の技術的な上達もさ
 ることながら、自分のパート
 と他のパートが一体となり、
 心をつなげることに。そして、
 演奏を聴いている人々の心に
 感動を与えること。人間の心
 や感情を表してこそその音楽で
 す。



若者の成長と調和を願って

指揮者 北原 幸男

今年三月、「キラリ☆ふじみ」
 にて、富士見市吹奏楽祭が催
 されました。市内の中・高等
 学校が集まり、それぞれ日ご
 ろの活動の成果を披露したほ
 か、ビッグアップメンパーに
 よる合同演奏が執り行われ、
 私も指揮をする機会に恵まれ
 ました。

一モ二一（調和）は壊れてし
 まいます。
 歴史や文化の違う国で生ま
 れた西洋の音楽を、我々日本
 人が理解し表現することは、
 決して簡単なことではありません。
 せん。しかし、音楽の源であ
 る歌や踊りは、人類発祥の始
 めから存在した、私たち共通
 の感情です。

生徒たちの若い素直な心が、
 音楽を通して、文化の垣根を
 越え大きく成長してゆくこと
 を願ってやみません。

学校 TODAY

特集

学校の様子を写真で紹介する「学校TODAY」です。今回は、市内五つの小中学校に「学校自慢」を教えてくださいました。

あなたの「自慢」は何ですか？と尋ねられると、ちょっとはすかしくて、ためらいがちになってしまいます。ですが、どの「学校」も、在籍している一人ひとりの子供たちが、すべての人に誇れる何よりの自慢でした。

自慢の子供たちが、どのようにがんばっている様子を見せてくれたのでしょうか。一学期のたくさんの方の活動の中から厳選した取組の様子をお伝えします。

子供たちが、生き生きと活躍する一コマをご覧ください。



水谷中



一人一額

本校では「一人一額」に取り組み、1年生の廊下には学年全生徒の作文がそれぞれの額に収められ、いつも友だちの作文を読む光景を見ることができます。



はつらつ社会体験

はつらつ社会体験。いつもとは違う環境で、緊張した様子でした。慣れない仕事の中で、試行錯誤しながらの体験。成長を感じさせる3日間となりました。

関小



実り多い関小ファーム

本校の学校自慢は関小ファームです。4月には何もなかった広い地面が、子どもたちの心を耕すように、きれいな農園になっていきました。ナスやトマトやトウモロコシなどが収穫の時期になり、実り多い学校生活のようにたくさんの方の作物が獲れました。この恵まれた大地での体験活動で「育てること」の意味が子どもたちに理解できれば良いと考えます。

学校 自慢

『子どもが伸びる関わり方』

国際比較調査によると、最近の日本の親子関係は、他国と比べ、親子の心理的距離が遠くなっているといえます。そして、心理的距離が遠い親子関係にある子供ほど、親子関係がうまくいかず、子供が様々な問題を抱えているとも指摘されています。

今回は、親子の心理的距離を近づけ、子供を健やかに成長させるためにはどのような関わり方があるのかを考えてみたいと思います。

一 子供の良いところを見つける

いろいろな生活場面でも、お子さんの良いところを探してください。行動や態度、所作などをよく観察してみてください。そして見つかったら、時間を置かず本人に伝えてください。

一つが見つかったら、第二の良い点を見つけ、「そう、そういうところもいいね」などと具体的に伝え、本人に自分の良さを理解させ、認識させることが大切です。

二 子供の心に安心感や信頼感を持たせる

このように、常に、子供の良さを見つけてあげると、見つけていると、子供の心の中に、「お母さん(お父さん)は、自分の良いところをいつも見守ってくれている」という安心感や信頼感を持つようになります。その結果、親子関係はよくなり、親と



全校遠足

全校遠足でチーム開きを行い、所属メンバーを確認して6年生の班長を中心に楽しく遊んでいます。



遊ぶデー

毎月第2水曜日の昼休みの時間に異年齢集団で遊ぶ時間を設定し、よりよい人間関係づくりを目指します。

勝瀬小



みどりの学校ファーム

市民大学の方からコーチを受けています。

水谷東小



一票の重みに真剣!

「かたろう、つなごう、せいとのわ」をスローガンにする勝中では、生徒総会で700人が集い、賛成・反対を数えるのも一苦労。積極的な発言が相次ぎます。

勝瀬中



逆上がり教室

6年生が下級生に教えています。早く補助板がなくてもできるようにしたいね。



3年生がリードする体育祭

学年の枠を超えて、チームを組み、赤・白・青・緑・黄・桃の6色で対抗します。「次の競技に出る先輩は誰かな」応援にも、力が入ります。

子の心理的距離もどんどん近くなります。子供も意欲的で、自分の考えを主張できるようにしたり、粘り強くなったりするようになります。

つまり、見守ってもらっている確信は、子供に深い自信を与えるのです。

三 具体的な例から

小四の太郎君は普通の子でしたが、母親は、彼に何か得意なことをつくってやりたくて、それまでいろいろな習い事に行かせました。しかし、どれも長続きせず、母親はこれからどうしたらよいか悩んでいました。

四年の家庭訪問の際、思いもよらず、担任の先生から、「太郎君は返事がいいですね。クラスで一番です。」とほめてもらいました。母親は喜び、家族全員の前で太郎君をほめました。太郎君は自信を深め、会話もハキハキするようになりました。母親はすぐにそのことに気が付き、そのこともほめました。そういつた繰り返しのなかで太郎君は、何事にも意欲的で粘り強い子になっていきました。

四 まとめ

人の欠点を見つけるのは簡単だが、良い点を見つけるのは難しいといえます。その難しいことに親が本気で向かって行く時に、個々の子供の光が見えてくるのではないのでしょうか。



教育委員会だより

○平成21年度全国大会出場者

富士見台中学校 水泳
重信 藤乃 (3年)
バタフライ 200M 2分13秒17・・・第2位
バタフライ 100M 1分02秒42・・・第8位

東中学校 バレーボール部 第2位
長谷川翔平・吉武裕樹・細田寛人・藤野駿郎
篠原光男・關 義貴・富田直人 (以上3年)
沖田智侑・寺島幸宏・白石敬亮・岡本幸大 (以上2年)
菅沢史行 (以上1年)

勝瀬中学校 陸上部
富越 洗二郎 (3年)
1500M 4分10秒29・・・第12位
3000M ・・・棄権

○平成21年度関東大会出場者

勝瀬中学校 陸上部
富越 洗二郎 (3年)
3000M 9分04秒10・・・第10位

勝瀬中学校 水泳
金子 美月 (3年)
女子400Mメドレー 5分17秒17・・・第6位

富士見台中学校 卓球部
牧野 光 (3年)
個人シングルス 1回戦敗退

東中学校 ソフトテニス部
島田 礼実 (3年)・平山 七海 (3年)
個人戦 3回戦敗退

東中学校 バレーボール部 第2位
長谷川翔平・吉武裕樹・細田寛人・藤野駿郎
篠原光男・關 義貴・富田直人 (以上3年)
沖田智侑・寺島幸宏・白石敬亮・岡本幸大 (以上2年)
菅沢史行 (以上1年)

お詫びと訂正

5月号(301号)に執筆いただいた、『生きる力をはぐくむ』中、「友達を支えに…」のみずほ台小学校鈴木泰生主幹教諭の原稿中、Aくんの例の50m走の記録が8.7秒とありましたが、「8.4秒」に訂正させていただきお詫びいたします。

この本の中には、「この世には目に見えない大切なものがある」、「伸行がいてくれたから人生が広がった」、「関いたらためらわない」など子育て論・教育論・人生論といふべき素敵なフレーズが溢れています。ぜひ時間がありましたら秋の夜長、辻井さんのピアノを聞きながらの読書はいかがですか。(保坂)



横顔

せんせい、できたよ!

関沢小学校教諭 影森 里美



四月八日に入學して、68日、一学期が終業しました。子供たちは、一学期の間で新しい友達ができ、運動会など様々な行事を経験し、たくさんの

とめとして、50題ほどの計算カードに毎日、毎日取り組みました。どの子もみるみるうちにスピードが上がりました。まる

と、笑顔で報告してくれました。その喜びに溢れる顔を、大切な宝物として心に貯めておきたいと思いました。全力で楽しむこと、私が考

えている限界をひょいっと超えてしまうこと。一学期一緒に生活して、改めて「子供って素晴らしいな。」と感じました。夏休みが終わり、二学期が始まりました。どの子も一回り大きくなって元気に登校しています。二学期も、学校生活の様々なところで、「せんせい、できたよ!」という声を聞かせてくれそうです。

編集日記

本校の朝会で辻井伸行さんの話をしました。ご存知の通り、辻井さんは現在二十歳、生まれながらの全盲の方で、今年の六月にアメリカでバンク・クライバーン国際ピアノコンクールに出場し、見事に優勝した方です。私はこのことを子供たちにつけて貰おうとお話したわけですが、なんと本校のほとんどの児童が、このことを知っていました。辻井さんの成し遂げたことの偉大さを感じた次第でした。実は、朝会で子供たちに様々なエピソードと彼の演奏を聞いて貰おうと思い、辻井さんの演奏するCD+DVDとお母様の書かれた二冊の本を購入しました。(のぶカントーピレ・今日の風、なに色?)